

# Uni-Puck 利用前点検について

試料を凍結保存する前に、下記項目について必ずご確認ください。

## A: 底板ツメ (底板側面の板バネ)

底板が蓋から不意に脱落することを防止するために底板ツメ(板バネ)が側面に2個ネジ止めされています(写真1-A)。このネジにゆるみがある場合(写真2)、ハンドリング中に不意に蓋がはずれてしまう可能性がありますので、ネジを締めなおしてください。合わせてツメの変形(図1)が無いかを確認し、変形が認められるUni-Puckの利用はお控え下さい。

## B: 底板ピン (底板中央の太いピン)

Uni-Puckの蓋と底板の位置決めのために中央に底板ピンがあります(写真1-A)。裏面より皿ネジで固定(写真3)されていますが、ゆるみのある場合、底板ピンが垂直に保持されず、サンプルピン先端の試料部分に蓋が接触する可能性があります。また、実験時に底板ピンがSPACEのアームとぶつかって実験が中断する等のトラブルの原因にもなります。皿ネジにゆるみがないかを確認し、ゆるみがある場合は締めなおして下さい。

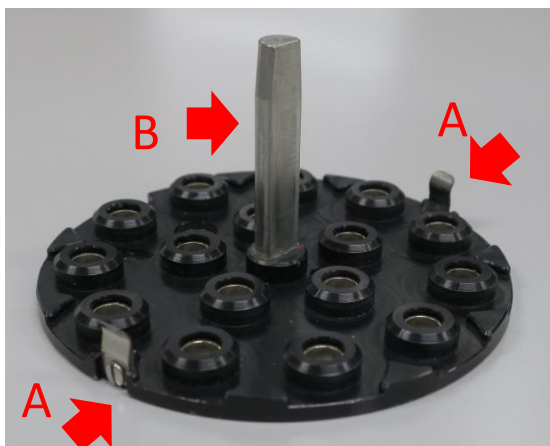


写真1



写真2

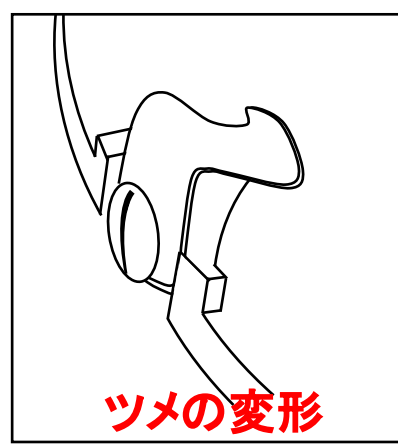


図1



写真3